

鉾山町の歴史的建造物に 解説プレート



プレートがある建物は、まちなかの所々にあります。

相川 あいかわらばん 瓦版

第35号

2018年9月25日発行

《編集・発行》

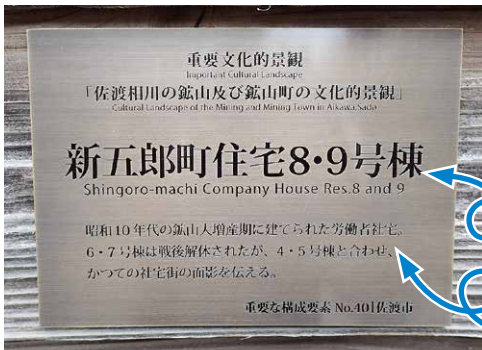
佐渡市産業観光部

世界遺産推進課

電話 0259-63-5136

FAX 0259-63-6130

解説プレート



真鍮製／B5サイズ

耐久性や文字入れのしやすさから、金属製のプレートにしました。木造の建物になじむように光沢を抑え、風格のある茶系色としました。

文化財としての建物名称を日本語と英語で記載。

専門家監修による建物解説。

鉾山町の建物の歴史や魅力を伝える

今年3月、重要文化的景観「佐渡相川の鉾山及び鉾山町の文化的景観」の保護の対象となっている歴史的建造物に、解説プレートを設置しました。プレートがついた歴史的建造物は、相川の市街地に約20軒あります。

このプレートは、相川を訪れる人が鉾山町を散策する際の見どころのひとつとして、歴史的建造物の情報を発信するものです。また、相川にお住まいの方々にも、建物の魅力を再発見していただきたいと思っています。上の写真にあるようなプレートが、建物や塀など、通りから見える部分にさりげなく付いています。プレートがついた建物は、いずれも鉾山町の歴史と関わりがあるものばかりで、その価値や魅力をプレートでわかりやすく解説しています。

今回、プレートを設置したのは、保護の対象となっている建物の一部であり、今後もプレートを順次設置していく予定です。

【おながい】 プレートを設置した建物の多くは個人宅であり、建物の公開は行っていません。敷地内への無断立入りはご遠慮ください。

→ 鉾山町を道案内する看板も、今年3月に追加で設置しました。看板が少しずつ増えています。



相川に 関する 計画作成中

現在、世界遺産推進課では、相川に関する3つの計画を作成中です。さまざまな支援制度を活用し、相川の文化財や景観を効果的に保護するため、国の制度ごとに計画を作成しています。

歴史的風致維持向上計画

歴史的風致とは？ 歴史的に価値の高い建造物及び周辺の市街地と、地域における固有の歴史及び伝統を反映した人々の営みが一体となっているものが歴史的風致です。例えば、「善知鳥神社（建造物）」と相川祭り（営み）」は、相川を代表する歴史的風致であるといえます。

計画の目的や特徴 「鉾山町相川の歴史的なまちづくり」を進めるため、平成29年度から計画の策定を進めています。策定にあたって、「地域課題の把握」「市民による事業提案」を目的としたワークショップを開催します。市民の皆さんから広く意見を聴き、計画に反映するとともに、地域の一体感の醸成も図っていきます。ワークショップは、10月末から計6回を予定しています。ぜひご参加ください。



担当者

市川



歴史的風致の例（善知鳥神社と相川祭り）

相川の方々に意見を聞くこともあるので、そのときはよろしくにゃ。



担当者

相羽



史跡整備の例（佐渡奉行所跡）

史跡「佐渡金銀山遺跡」整備計画

史跡とは？ 遺跡の中でも歴史上または学術上、とくに重要なものが史跡です。史跡佐渡金銀山遺跡は人類が追い求めてきた金・銀をどのように獲得し、利用してきたかを具体的に知ることのできる重要な鉾山遺跡です。

計画の目的や特徴 鉾山遺跡である史跡佐渡金銀山遺跡は、鉾山の管理施設や鉾山集落跡などの考古遺跡、歴史的建造物、近代産業遺産など様々な性格をもつ遺跡で構成されています。この計画は、これらの遺跡を大切に保存して未来へ残すとともに、その価値や魅力を多くの方に知ってもらうため、その方法について定めるものです。

重要文化的景観「佐渡相川の鉾山及び鉾山町の文化的景観」整備計画

文化的景観とは？ その地域にとつて欠かせない、とくに大切な景観が文化的景観です。鉾山町の歴史を伝える相川市街地と山手の相川金銀山跡などが範囲に含まれています。

計画の目的や特徴 景観を保存するとともに、その特徴を分かりやすく伝えていくための整備の方法を定めます。特徴的な景観をつくり出している建物などの整備、情報発信、防災対策など、景観の保護に関するさまざまな取組みを検討中です。今秋には、計画作成のための活動として、景観と密接な関係にある、市街地の駐車場や空地の実態調査を予定しています。



担当者

山口



かつての鉾山町・相川市街地（山林や海岸を含め、鉾山町の景観として保護されています）

地域が一丸となり集落の魅力を伝える

新潟県で国重要文化的景観に選定されている地区は、佐渡市の西三川・相川の2カ所のみです。その西三川にある笹川集落（砂金採りが暮らした鉱山集落）の取り組みを紹介します。

笹川では、地元の方々がガイドを務め、観光客などに集落を案内するなど、地域が主体となった活動が盛んです。地元ガイドは、砂金山や集落の歴史だけでなく、散策をより楽しめるように集落内の植物などの解説もしてくれます。

ほかには、集落にある「旧西三川小学校笹川分校」の校舎を利用した活動も盛んで、様々なイベントが毎年継続して開かれています。イベントには、お年寄りから子供まで老若男女が参加しています。現在は、この旧校舎を拠点とした新たな活動や、観光客等の車両乗入れを制限する試みも始めています。

こうした活動はすべて、集落に暮らす方々の理解のもとに成り立っています。笹川集落には、集落の全戸が会員である「笹川の景観を守る会」があり、その会の寄合に市の職員も同席しながら今後の取組みなどを相談しています。



地元ガイドによる散策案内



地域の方々が協力する砂金採り体験

重要文化的景観「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」（平成23年選定）

砂金採掘から農林業へと、生業の移り変わりを示す独特な景観が評価され、新潟県初の重要文化的景観に選定されました。

専門家会議を開催しました

8月22日、「佐渡市文化的景観の保存及び整備に関する専門家会議」を新潟市内で開催しました。会議は、毎年数回開催しており、相川・西三川の文化的景観の保護に関するあらゆることをここで議論しています。

本紙1ページの解説プレートの設置や、2ページの計画作成などについても、専門家会議で議論しながら取組みを進めています。佐渡市が提案する整備の計画などについて、土木・地理・景観・建築など、各分野の専門家から助言をいただくことで、文化財としての価値を守りながら必要な整備を進めています。

相川の方々と専門家が顔を合わせる機会は少ないですが、相川にあるガードレールや建物、案内看板の修理や設置は、こうした専門家の協力のもと進められています。

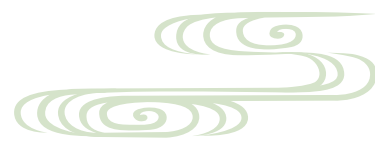


新潟市内で開かれた会議の様子

県内外の専門家にご出席いただきました。ときには会議を佐渡市内で開き、現地を見て歩くこともあります。

相川の今昔

えんめいざん そううんじ 延命山 相運寺

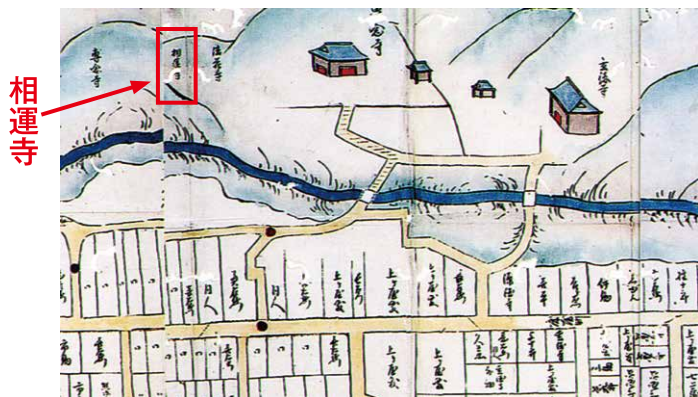


中寺町にある相運寺は、沢根の曼荼羅寺の末寺であり、開基は慶応7年（1602）とされています。【※1】相運寺は当初、上相川【※2】に建立されましたが、慶安年中（1648～1652）に一度廃寺となります。「上相川絵図」をみると、鉾山集落の南に描かれた山々に「相運寺」の名が確認できます。

その後、相運寺の廃絶を惜しんだ曼荼羅寺の尊誉によって、正徳6年（1716）、中寺町に再興されました。以後、関係者の方々によって寺が守られ続け、今日に至ります。

【※1】一説には開基不明。 【※2】上相川は鉾山近くの山中にあった鉾山集落で、江戸時代初期に最盛期をむかえました。

出典：『佐渡相川志』（宝暦6年頃）、『相川町誌』（昭和2年）、『佐渡相川の歴史 資料集八 相川の民俗 I』（昭和61年）、『佐渡相川の鉾山都市景観保存調査報告書』（平成27年）



相運寺

上相川絵図（相川郷土博物館蔵）

この絵図が製作された宝暦2年（1752）には、相運寺はすでに中寺町で再興されているため、絵図にある相運寺の名は寺の所有地等を表していると思われます。



相運寺 本堂

ひとことメモ 境内にある大師堂を四国八十八観音の石仏が取り囲み、この堂の周囲をひと回りすると四国の霊場を巡礼したことになるといわれています。

〈訂正とお詫び〉

「あいかわらばん34号」（7月25日発行）の「特集 鉾山町の橋」の記事に誤りがありましたので訂正します。

「海士町川に架かる御番所橋」として右の古写真を紹介しましたがこれは誤りで、正しくは「大仏川に架かる南橋」の古写真でした。



左：あいかわらばん34号掲載の古写真（大正～昭和初期の南橋）
右：現在の南橋

今月のにゃんじー

「芸術?の秋」

あっという間に秋ですね。

にゃんじーは芸術に目覚めたようです。



第36号

11月22日刊行予定